

2 水稲準奨励品種ヤマセンラズの廃止（農試水田作科）

「ヤマセンラズ」は「藤坂2号」を母とし「農林1号」を父として選抜育成され、早生・耐冷・多収品種として、昭和34年に県奨励品種に編入され、昭和40年代初頭には、いわゆる、偏東風地帯を主に、北部沿岸・丘陵・山間地帯の主要品種として1,500ha前後の栽培面積（25%前後）を占め、当時の県内収量水準の向上に大きく貢献した。

しかし、近年、良質米生産の要求が強くなり、流通側から品質・食味が不評であり、昭和44年以降栽培面積が減少し、昭和47年準奨励品種に降格され、昭和50年以降は100ha弱（0.1%弱）に激減し、昭和54年にはついに23ha弱にまで低減した。

このため、産米改善の立場から、栽培面積が少なく、品質の劣る「ヤマセンラズ」を県準奨励品種から廃止する。

水稲うるち「ヤマセンラズ」の栽培面積の推移

年次	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44
栽培面積(ha)	363	902	1,447	1,424	1,784	1,456	1,187	1,247	1,142	801
品種比率(%)	0.5	1.4	2.1	2.1	2.6	1.9	1.6	1.6	1.4	0.9

年次	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
栽培面積(ha)	523	361	241	173	113	78	52	36	24	23
品種比率(%)	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.09	0.06	0.07	0.03	0.03